

事務事業名	いちごタクシー及びいちごバス運行事業				担当	総合政策部 総合政策課 交通政策係			
政策名	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）		
施策名	4	公共交通ネットワークの整備				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市地域福祉計画 真岡市障害福祉計画・真岡市障害児福祉計画 真岡市地域公共交通計画				事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					☒ 毎年度実施（開始年度平成23 年度～）			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	7.企画費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
予算科目									
予算科目									
事業概要	平成22年度に策定した「真岡市地域公共交通総合連携計画」に基づき公共交通ネットワークの構築を推進し、平成23年度から、自宅から決められた目的地まで運行する予約制の乗り合いタクシーであるデマンドタクシー（愛称：いちごタクシー）を市内全域で、平成24年度から主にいちごタクシーの目的地を繋ぎ市街地を循環するコミュニティバス（愛称：コットベリー号）の実証運行を開始し、平成26年度から本格運行を開始した。 平成23年11月4日 デマンドタクシー運行開始（5台、平日のみ） 平成24年10月1日 コットベリー号運行開始（市内循環線 右回り左回り各1台 計2台 年末年始を除く毎日運行） 真岡市地域公共交通活性化協議会において、料金に関すること等について協議し、必要に応じて運行内容の見直し等を行っている。 芳賀赤十字病院の移転を踏まえ、いちごタクシー、コットベリー号の運行内容の抜本的な見直しの協議を地域公共交通活性化協議会において行い、平成31年3月4月からコットベリー号をいちごバスに名称変更し、新たなルートと26人乗りバスでの運行を開始した。 令和4年9月から、いちごタクシー予約受付システムを変更し、スマートフォンアプリから予約可能とした。 令和4年10月から、いちごタクシーの運行台数を5台から6台へ1台増車した。								

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
6年度実績 ・いちごタクシーといちごバスの運行実施 ・運行内容の見直し（地域公共交通活性化協議会での協議、承認を得て実施） ・燃料高騰に対する支援として「いちごバス・タクシー運行业務委託 燃料費高騰分支援事業」を実施 ・いちごバス定期券購入助成事業を実施 7年度計画 ・いちごタクシー、いちごバスの運行実施 ・真岡市地域公共交通活性化協議会での協議、実績報告 ・いちごタクシー、いちごバスの運行内容の見直し				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア	いちごタクシー運行日数	日	242	243	243	243	242
				イ	いちごタクシー拠点数	か所	134	134	133	132	132
				ウ	いちごバス運行日数	日	352	359	360	359	359
				エ	いちごバス停留所数	か所	41	42	42	42	44
				オ	いちごタクシー運行便数	便	21,780	24,030	26,244	26,244	26,136
				② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移			
市民及び市内公共交通利用者				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア	真岡市民	人	78,592	77,635	77,578	76,972	76,498
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
				③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移			
少子高齢化の進展に対応し、市民の日常生活における移動手段を確保するため、いちごタクシー及びいちごバスを運行するとともに必要に応じて運行内容を見直し、公共交通の利用者の満足度を高める。				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア	いちごタクシー登録者数	人	10,164	9,622	10,262	10,905	11,600
				イ	いちごタクシー利用人数（延べ）	人	13,683	13,523	15,269	17,753	20,327
				ウ	コットベリー号利用人数（延べ）	人	－	－	－	－	－
				エ	いちごバス利用人数（延べ）	人	36,372	44,154	53,124	57,680	60,276
				オ	公共交通機関の利用に関する利用者満足度	人	33.4	37.7	40.9		
				(2) 総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	6,360	1,394	1,693	1,138	1,138		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	91,539	95,502	93,629	81,051	84,898		
	事業費計（A）			千円	97,899	96,896	95,322	82,189	86,036		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 公共交通ネットワークの整備に結び付いている。 また、超高齢社会の進展や運転免許証自主返納者の増加等に対応するために、いちごタクシーやいちごバスの利便性の向上を図ることで、公共交通の利用者の満足度を高めることができる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 公共交通機関は市民生活やまちづくりに不可欠な基盤であり、市が行う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) ・いちごタクシーは登録制のため、市民に利用者を限定している。 いちごバスは、誰でも利用できることから、公共交通の利用者全般を想定している。 ・「真岡市地域公共交通計画」においては、急速に進展する少子高齢化や、運転免許証を自主返納する高齢者の増加による、交通弱者の移動手段の確保対策が必要としており、いちごタクシーやいちごバスの運行は、一つの対策として不可欠なものである。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) いちごタクシー目的地の需要に応じた変更や、いちごバスのダイヤを利用しやすい時間帯となるよう見直すことなどにより、利便性を高め、成果を向上させる余地がある。 また、「知らないから乗らない」方を減らすため、一目でわかりやすいパンフレットを配布し、周知を図ることで利用促進する余地がある。 車内にアンケート回答フォームへ誘導する二次元コードを掲示するなど、利用者の声をくみ取る手段を検討する余地がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） ☐ 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 必要な運行を行うための、最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☒ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☒ ：有効性 ☐ ：効率性） ☐ 統合 ☐ 継続 いちごバスのダイヤを利用しやすい時間帯となるよう見直すことなどにより、利用者を増やす。	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>△</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>△</td><td>△</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下		△	△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下		△	△																		
(2) 課題、課題の克服の方向性 燃料費が高騰しているが、市民の利便性を確保するため、タクシーの台数や運行時間は減少させず維持する。 いちごバスのダイヤを利用しやすい時間帯となるよう見直すことなどにより、利用者を増やす。																						

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☒ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																					
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>△</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>△</td><td>△</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下		△	△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下		△	△																		